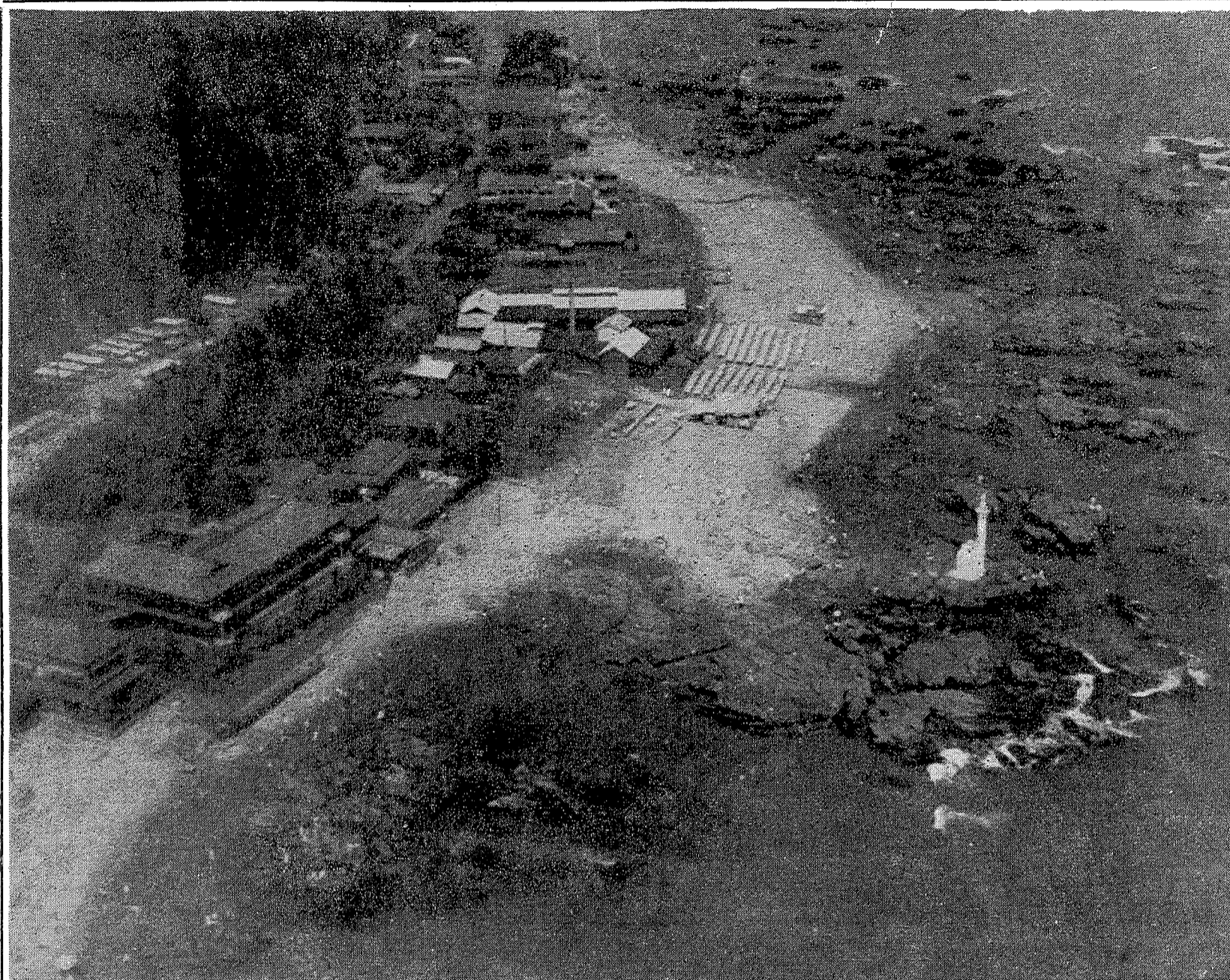


おおあらい

発行所 大洗町役場
印刷所 岩城印刷所
大洗町役場前

浪の花ちる大洗

磯を大いに洗うから
鬼を大いに洗うから
我らの祖先は昔から
この地を名付大洗
永い希望の夢だった
この地に港が出来た
なら
朝な夕なに何ん百の
大型船の舟ばたを大
いに浪が洗うだろう



『新町建設の基盤』

ここに昭和三十五年の新しい年を
迎へ町民の皆様に心からお祝ひ
申し上げます。昨年はアイゼンハ
ワーフルシヨフ両巨頭の雪とけ
会政による世界平和論や国内にお
ける所得倍増論等が論議され誠に
多様な年でもございました。私共の
町でも海門橋の竣工やら皇太子さ
まのお迎へして行われた全国放魚
祭等は町議会議員の選挙等多事多
忙な年でもございました。



大洗町長 大貫 清

殊に近年町がいろいろの意味で有
名になり全国各地から視察団が絶
えず来町しておるのでありますが
昨年度は自治庁の指名で遠く沖縄
の町村会一行が又先日は北海道網
走漁業組合一行が水産庁の指名で
来町しております。それにつけて
も町全般の整備態勢の急務を痛感
しております。昨年初頭私は産業
上経済上の基礎条件の整備とい
うことを申し上げたかと思ひますが、
まづ外港建設計画については県の
手によつて着々と調査が続けられ
昭和三十五年においてははいよいよ
運輸省直轄の基礎調査が行われ

る予定であり、それによつて建設
の具体的方策が決定されるはずで
あります。漁船碇泊港として、避
難港として、石油配分港として町
繁栄の原動力たらしむべく本年は
その実現のための運動を一段と展
開する決意でございます。

『新年のごあいさつ』

町民のみならず、明けましておめ
でとございます。輝ける昭和三十
五年の新春を皆さんと共に迎へ
るに当り謹んでお慶び申し上げ
ます。古くより『一年の計は元旦
にあり』と申されておりますが本
年は又『ゴールデン、シックス
ティーズ(黄金の六十年代)』など
と呼ばれております一九六〇年代
の最初の年にも当り、一年の計は
もとより十年の計を樹てるべき希
望に満ちた年でもあります。



大洗町議会議長 大貫 熊雄

申し上げる迄もなく物質文明は二
十世紀後半に於ける今日躍進的な
発達を遂げ原子力宇宙時代へと移
行しつつあるものであります。
而しながら反面昨年九月の伊勢湾
台風の惨害の如き悲しむべき事実

進められ、道路の拡張、公
園の整備が引続き行われ予定で
あります。私共も産業上観光上或
は環境衛生の見地から道路の舗装
下水路の整備、塵芥焼却炉の建設
は本年度是非実現したいと願ひ
しております。教育面については、
二、三、中の統合問題であります
がこれはなかなか重要な課題であ
りしかもかなりの経費を要します
ので現在予算を検討しております
が多年の懸案でもありますので是
非実現したいものと考へていま
いづれにしても『ローマ』は一日に
して成らず』とか新町建設も財源
の關係もあり一斉にはなかなか至
難でありまたその方途については
いろいろの意見もあると存じます
が建設のためには衆議をつくし、
お互いに力を協せ絶えず努力を
していくことが大切であり、そうす
れば必ず成果が挙ることと信じて
やみません。大洗巖頭打寄せる真
白い浪がしらは正に脈々として新
しき時代の呼吸を感じさせ私達を
奮立たせてくれます。
時代の潮に乗りおくれないう今
年も頑張りますよう。
終りに本年も町が平和であるよう
に町民の皆さんが健康であるよう
にお祈り申上げて新年のご挨拶に
代へる次第であります。

- ### 各種委員会委員 (敬称略)
- 監査委員(議会議員) 田口富之介
 - 都市計画審議会委員 石崎作衛門、田山勇之助、松井平兵衛、関野清兵衛、大貫定夫
 - 公害防止審議会委員 大貫熊雄、久保木清、加藤伝四郎、関根喜衛門、田山安蔵、磯崎一郎、小野瀬勝雄
 - 新町建設審議会委員 大貫熊雄、久保木清、鬼沢保兵衛、関根喜衛門、関根恵一、清水多喜、米川徳次郎、田山安蔵、田中義弘、菅原弥
 - 水産業振興対策協議会委員 大貫熊雄、久保木清、皆藤源次郎、小野瀬勝雄、関野清兵衛
 - 港湾調査特別委員会委員 小松崎弥四郎、清水伝次郎、加部東喜四郎、平山智得、飯島一之介、菊池彦衛門、正木庄四郎、田口富之介、才田久寿、水野谷利秋、深作謙
 - 後坪地内松立木伐採処理特別委員会委員 加藤伝四郎、清水伝次郎、石崎作衛門、皆藤源次郎、田山勇之助、磯崎一郎、菅原弥

農業振興の基礎

農業の振興と農家の幸福は健全で、しかも強力な農協が中心母体となつてすゝめられなければなりません。

進む農協合併
皆さんの御協力を

当大洗町には現在磯浜、大貫、夏海と三つの地区にそれぞれ農協がありますが残念なことに強い農協とは申されません。町村合併以来町をはじめ関係者の人々はこの三つの農協を統合して、しっかりと農協を再建し当町農業発展の基盤をつくるべく長い間苦心をしてきましたが、いろいろな事情で実現できずに今日に至つています。岩上県知事の農業施策の第一はやはり農協の申してもこの目的達成のためには直接組合員となる農家の皆さん方の深い理解と真げんな協力がなければなりません。何卒皆さんの幸福のために、そして農業の振興を図り豊かで明るい町づくりのために一層の御支援と御協力を切望してやみません。ちなみに合併促進委員会の皆さんを紹介します。

大洗町農業協同組合
合併促進委員名簿

力こぶを入れ、全面的な協力を注いでくれています。町でも是非今年度中に合併実現を図るべく、一生懸命仕事をすゝめ去る一月二十三日町、町議会、農委農研、学識経験者を網羅した合併促進委員会を結成し、予算や事業計画を決定、いよいよ本格的にこの実現に邁進することとなりました。しかしなんと

加藤清、大貫熊雄、小野瀬勝雄、深作義、関根喜工門、加部東喜四松、平山智得、清水伝次郎、加藤伝四郎、菅原弥、清宮保、飛田豊松、杉山義和、小野瀬鈴太郎、薄井信、大貫喜一郎、田口富之介、内山光正、大野弘、飛田吉太郎、小野瀬寅之介、大内昌徳、浅野昇次

海上の波が敷設された本体の頭上を越へるときの圧力の変化が正確に本体に感知され、海底ケーブルを通して陸上の記録室の机上にあるグラフにそのまゝ自動的に波の高低が線状で記録されて行きますこの方法で毎日の波の高さが正確に記録されて一年間の波浪の狀態が完全に把握され港の建設計画に貴重な資料を提供するのであります。灰間するにこの波高計一切の価格は二百数十万円に上るそうです。このほか潮流や漂砂の調査等大切な調査が併せ進められているわけでこれらの調査の結果が明日になつてはじめて港建設の計画がたてられるのです。

いよいよ国（運輸省）でも昭和三十五年より調査費を出してくれる見通しです。一方地元でも港湾調査特別委員会を結成し先般県を

科学的調査の第一陣 波高計いよいよ設置

一月十三日(小春日和)の言葉のように朝からカラツと晴れ渡り、海上はみづうみのように平穩、この日待望の波高計の敷設すべく前日来、横浜第二港湾建設局港湾調査室主任として港湾建設の権威者であられる井島武士博士が来町、波高計本体の入念な運転試験を済まし、東部河地区建設事務所所属船「みなと」に搭載技術者十名と共に大洗灯台沖の敷設現場にやつて来ました。

やがて陸上の記録室のスイッチで電流が通されると、いよいよ機械の活動がはじまり、六〇〇米沖合と坐りました。

開設お知らせ
農相談

農家のみなさん、みなさんの一番大切な農地のことで日頃疑問に思っていることや、困っていることはありますか。こんなことで、わざわざ県庁に出向いたり、陳情書を出したりする負担をできるだけ少くし、早く解決して安心して

「困っている方、農地を賣うためその資金を融資してもらいたいと思う方、小作料が高いとか、地赤ら返還を迫られ困っている方又は小作料が貰へないで困った方など農地に関することならば何んでも、他人にわからないように相談でき、正しい知識が得られま

金一五、〇〇〇円大洗親交クラブ
 青陰と町の社会福祉協議会からの
 援護で、新しい年への越年一助の
 もと、全町一五五世帯と養老園の
 老人達へ、各位の御厚志をお伝へ
 して配分いたしましたので紙面を
 通じて御礼申し上げます。

記

をしていないという方は役場厚生課国民年金係まで申出て下さい。但し今後請求される方に対する支給は三月以降になる予定です。

四つとせ
 五つとせ
 六つとせ
 一度調べる火の始末
 夜は一層注意して
 電気コタツやガス火鉢
 いつもは注意を怠つて
 焼いた後から
 愚痴が出る
 昔も今も火の用心

農業経営の基礎である農地が安定した状態にあることは、農業生産力を増進し、農業の発展を図る要件であります。農地改革で一応は落ちついた形になっているが、ここにちなお、いろいろ農地をめぐる問題がおこり農業進歩発展をはばんでいる例は少くありません。農地に関し疑問に思われることがあつたり、経済上の理由から農地

『才末たすけ合運動』
温かい思いやり

昨年八月に國民年金受給権者の調査を開始してより進達を完了するまで、いろいろな御協力をいただけていた。嘱託員の皆様方初め関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。福祉年金裁定請求の現況は以上のとおりであります。またこの國民年金制度を知らない該当者の方もあるのではないかと思われます。國民年金の内容は左記のとおりでありますから、自分はこの年金に

火の用心数え唄

一つとせ 人のことでは
ありませぬ

二つとせ 火の用心はお互に
普段の注意が大切だ
寝てもさめても
火の用心

健康といへば私たちのくらしが、健康とどれだけ深いつながりがあるか計り知れないものがあります。病気になるつて収入の総てを失う人


農業にはがんじがらめでいたくようにするため、次の要領で農地相談室を

健康な明かるい家庭を育てるため
どうぞ御気軽に御利用下さい。

金課に進達を完了しました。そのうち八十三名の受給権者に昨年十二月二十五日年金証書を交付しました。

県国民年金課においては三月中旬には受給権者の方がもれなく支給を受けてられるよう事務を進め逐次年金証書を交付するとのことです。

以上福祉年金のあらましを説明したわけですが、くわしいことは福祉厚生課国民年金係に問合せて下さい。そして資格のある方は一残らず裁定請求をなし支給を受ける下さい。


国保だより
保健婦きまる
御利用下さい

おいて重要施策の一つとして国民
 皆保険が叫ばれておりますが、当
 町においても国民皆保険となつて
 から皆様の絶大なる御協力により
 早くも二年を経ようとしておりま
 す。その保健施設の一端として当
 町国民健康保険係に本年一月より
 保健婦として大谷和子さんが新
 く配置区になり皆様の育児、病

国民年金

三、母子福祉年金
昭和三十四年十一月一日にお
てすでに夫と死別して義務教
終了前の子を扶養している者
支給されます。
この場合においても老令障害
金同様(1)・(4)に該当する者は
年金の場合と同様(1)・(4)に該
する者はこの年金を受ける資
を失なうことになります。

はじめ国の關係各省に對し、これが実現方の要請に行つてきました郷土大洗町の一大発展のため私達は将来に明るい希望をもつて、この表現のため一層の奮発をしようではありませんか。

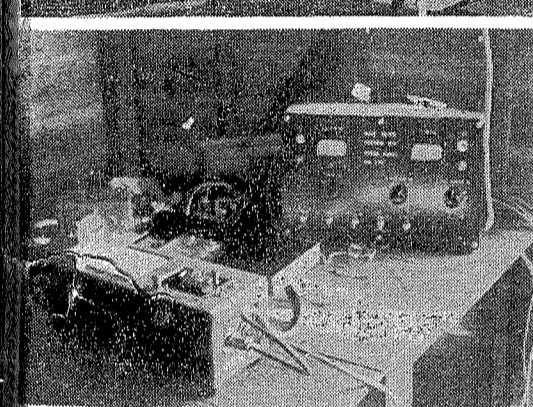
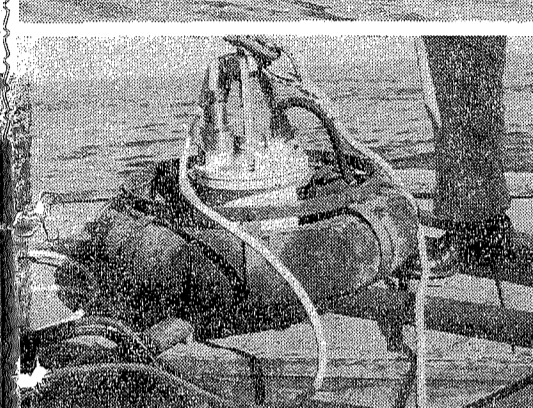
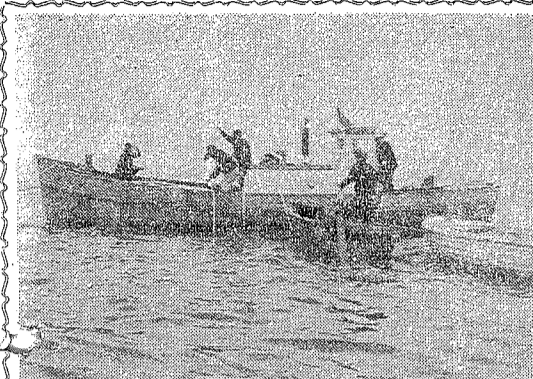
れもありましよし、病氣は多かれ
少れ家計というものに影響を及ぼ
すものです。生きているうちに、
全く病氣から逃れる事はできませ
ん。その病氣した際に安いお金で
早いうちにみてもらえるのは保険
より他にはないでしょう。全国に

裁定請求は
すみましたか

昨年十一月一日から本格的に実務
の段階に入りました。

留並手金は、き

て二十才以上のもので、二で両足とか両腕とを失なつてい者、全然耳がきこえないと云者、兩眼失明の狀態の者、昭三十六年四月一日以前にこのな狀態になつた者に支給されます。右の様な狀態の者でも老



(上) 海中ケーブルの投入
(中) 波高計の本体
(下) 陸上記録室の自計器

- 相談に應ずる係員は茨城県庁から専の方々が派遣され公平な判断で指導されます。
- 御相談に應ずる主な事項は次のとおりであります。
- 1 農地の貸し借りや売買、交換について
- 2 農地の贈与や相続について
- 3 農地をつぶして宅地や農作業場等にする問題について
- 4 小作料や小作契約のしかたについて
- 5 自作農維持創設資金の借り方
- 6 境界問題について
- 7 農地等の利用関係についての

爭議の防止に関する事項

大洗支部
金 六、〇〇〇円 大洗町民生委員
一同
金 一、四五〇円 夏海古宿子供会
有志一同
大洗親交クラブは本町在住各層知
名人の社交クラブであり先般県内
知名名の画家、牧大介、片岡洋一、
小園井一郎、坂田隆資の四画伯を
招き、會員の似顔漫画の頒布会を
行い得た益金で、土佐大普及会大
洗支部は、加部東祐貞氏が支部長
で、先般曲松グラウンドで行われた
土佐大普及大会の益金の寄附、夏
海古宿子供会有志は、廃品回収に
より得たもので、お互いに助け合
いという精神的な運動からの恵ま
れな方々への温かい思いやりであ

に支給されます。

但し昭和三十六年四月一日において五十才未満のものはきよ出制の対象になりますので福祉年金は受けられません。

右のことに該当する方でも次の事項に該当する場合は年金を受ける資格を失ないます。

(1)本人が恩給、扶助料、年金等を受けておりその額が福祉年金の支給額一万二千円をこえるとき

(2)本人が前年度十三万以上の所得があつたとき

(3)配偶者が前年度において所得税を納めているとき

(4)扶養義務者が二万三千六百円以上の所得税を納めているとき

二、障害福祉年金

昭和三十一年四月一日にお

七つとせ 何んばポンプが立派でも火の用心には勝りやせぬ

八つとせ やつと建てた喜びも一寸の油断でみんな灰子供火遊び危険です

九つとせ 親御の注意を頼みます

十とせ 戸締りだけではいけません

火の用心は尚大事早く通報することを忘れないで下さい。電話六番へ

大洗町消防団は一月七日第一中学校グラウンドに於て恒例による初出式を盛大に挙行しました。消防団の夜警は一月一日より一月三十日まで実施致します。

みんな協力して火災の防止に努めましょう。

格当令ま様和うるに